

## 役場の新人紹介(地域おこし協力隊員)

◆名 前：外山 愛美(31歳)

◆職 種：ICT 推進員

(企画財政課)

◆出身地：小樽市

ICT(アイシーティー)って何だろう?  
私もわからない事が沢山あるので、一緒に勉強しましょう!  
よく散歩をしているので、見かけた際は声をかけてください。



## 役場の新人紹介(地域おこし協力隊員)

◆名 前：倉嶋 淳(37歳)

◆職 種：生涯活躍のまち推進員

(企画財政課)

◆出身地：大阪府

スポーツトレーナー・治療家として約20年の活動を通して、町の健康や予防に繋がる活動に取り組んでいきたいと考えています。

よろしくお願いします。



## 地域を変えていく新しい力

## 地域おこし協力隊活動報告

TITLE: 上士幌町と上士幌高校生

記・社会教育推進員 明石 穂乃香

上士幌町に来て、そして上士幌高校の生徒と関わるようになってから2年が経ちました。現在は勤務日のほとんどを高校で過ごし、上士幌学のコーディネートだけでなく、生徒会執行部のサポートや高校ホームページへの投稿も行っています。

先日開催された道教委主催のフロンティアリーダー養成講座では、上高生2名が参加し、十勝の他市町村の生徒と交流しながら自分の町の課題と解決策について考え、その報告会を町民向けに実施しました。2人とも大人を前に堂々と発表している様子がとても印象的でした。もし都会にいたら、自分の住んでいる地域を代表して何かに参加することはないだろうし、多くの大人の前で発表する機会もなかつたと思います。そして、高校生の活躍をここまで応援してくれる大人に会えることもなかったように思います。そんな貴重な経験ができるのが、上士幌町の魅力のひとつだと私は思っています。

まだまだ未熟な部分もある高校生ですが、だからこそ経験を積むことで成長していく姿を間近で見てきました。高校での経験はもちろんですが、せっかく上士幌町にいるのならば、強みである地域との関わりの中で、より幅広く成長していくってほしいと思っています。



かみしほろ産の食材を使用

9/25

### ふるさと給食提供

地元の食材をふんだんに使用したふるさと給食が生徒たちにふるまわれました。当日のメニューは、かみしほろポークのダルカレー、上士幌産キャベツのサラダ・ハニードレッシング、上士幌産フレッシュミルクなどが提供されました。

給食を食べた生徒からは「カレーのご飯に味がついていて、味が濃くとてもおいしい。牛乳もとてもおいしい」と話していました。



上士幌町商工会青年部

### サプライズ花火大会

上士幌町商工会青年部が新型コロナウイルス感染症によりさまざまなイベントが中止になっていることを受け、サプライズで花火の打ち上げを行いました。

当日は夜8時からスポーツセンター裏グラウンドで打ち上げが行われ、秋の夜空をきれいに彩りました。



楽しみながら町をきれいに

10/11

### スポーツごみ拾い大会

上士幌町体育連盟主催のスポーツごみ拾い大会が開催され、大人から子どもまで9チーム36名が、競い合いながら、楽しく町内をきれいにしました。

平成28年から毎年開催され、今年で5回目を迎えます。今年は、交通公園交流施設をスタートし、3チームずつ、道の駅方面、小学校方面、スポーツセンター方面に分かれ、汗を流しました。今大会は合計で約86kgのごみが集まりました。



▲9月19日町民マラソン大会



▲9月25日交通安全旗波作戦



▲10月8日幼年消防団防火啓発事業



9・10月の  
まちのわだい

◀ 8月28日に服部幸子さん(写真左)が学びの森スタンプ150個、10月6日に田中松雄さん(写真右)がスタンプ100個を達成しました。

短歌

こんこんと河は流るる今日を来てその深き淵覗きてみたる  
吾がための給仕ひとり残りて食堂広きに昼を済ませり  
ひと目だけ別れの顔を目見得んと朝はやばやと訪ねきたりつ  
ゆるりとした刻を持てるは冥利なりひとり喫茶へ静なるひととき  
両親の畑作業する姿撮り送れば妹の喜こび呉れし  
イベントの今年の秋は何も無し来年こそはと願いおりたり  
高原のレストハウスに向かうバス今日はくもり日視界はよしか  
秋刀魚釣りテレビに見たら船の上網を漁師が背い投げてる  
センターの皆と植えたるプランターの花も枯れかけ霜近き今  
今日の昼カフェくれよんのオーダーを客より聞き取る間違なくと  
万歩計つけてわっかの中歩く雨降る朝の運動のため  
治まらぬコロナウイルス十勝にも及びて今宵は中秋の月

悼 金尾浩幸君

令和2年 9月末現在の人口	
男性	2,442人(+3人)
女性	2,544人(+3人)
人口	4,986人(+6人)
世帯数	2,603世帯(+5世帯)

令和2年度ふるさと納税寄付金	
9月分	5,908件
	86,719,203円
累計	31,396件
	465,783,000円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。  
※10月14日現在

- 1 心もからだもきたえ、すこやかな人になります。
- 1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
- 1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
- 1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。



編集後記

○広報担当は統計調査も担当しています。近年、統計学的視点はスポーツにも活用され、野球でも選手を客観的に評価する指標として利用されています。統計はあまりなじみ深いものではないかもしれません、調べてみると日常生活からスポーツまで、幅広くその手法が活用されています…Y

○今月号では、これまで町がコロナウイルス対策として実施してきた事業を一覧で掲載しています。「一人10万円」と話題になりました特別定額給付金は、その実績額が約5億円。もう一回やれば道の駅クラスの建設費用に並ぶと思うと、大変な事業だったと改めて感じます。他にも49の事業を実施または実施予定ですが、いずれにせよ早く終息し、「普通」が戻ってきてほしいものです。…T

令和2年度「上高たより」  
上士幌高校です!

文責：教頭

No.31  
令和2年  
10月25日

TITLE: 2年生が職場体験をしました

9月17日(木)・18日(金)の両日、本校2年生が職場体験実習に臨みました。今年は、計17の事業所でお世話になり、そのうち14の事業所が町内の企業でした。生徒たちは、体験をする前日までに事業所の必要事項を確認し、それから実際の体験をさせていただきました。今年度も大半の生徒が「将来の職業選択も含め、非常にためになった。有意義な実りある体験だった」と口々に話しており、職場体験の意義を十分果たすことが出来たのではないかと考えております。この場をお借りし、感謝申し上げます。事業所の皆様、大変有り難うございました。今後も引き続き職場体験が継続され、出来ることならば、生徒が将来、地元企業に就職し、地域がどんどん活性化していくことを願っております。



△利用者さんと(こまくさ苑)



△図書の消毒作業(図書館)



△校内整備も(上士幌高校)



月刊  
上高

介護体験実習を受けました

文責 渡邊このみ

9月18日に普仁園の永井さんら3名を講師に招き、1年生全員が介護体験の実習をしました。内容は「車椅子体験」と「半身まひ体験」です。車椅子体験は目隠しと耳栓をした状態で車椅子に乗ってペアを組んだ人に押してもらうのですが、声が全然聴こえないし、いろんな所にぶつかるし、急に動くのでただただ、怖かったです。また半身まひ体験では、片手片足を固定して階段の上り下りをましたが、上手くバランスがとれなくて、不安になりました。

今回の体験で、体の不自由な人・お年寄りの方の気持ちを知ることができ、困っている人を見かけたら積極的にお手伝いしたい、そして老人ホームなどのボランティア活動にも参加していきたいと思うようになりました。



△車いすで動き出す前の緊張



△装具をつけて半身まひ体験



△実習が終わってホッとしています